

九条北小学校 校長室だより

NO.36 令和5年1月23日



西区内でも、インフルエンザの流行の兆しがみられるようです。

もし万一、発熱・風邪症状等がみられるときには、早期の病院への受診をお願いいたします。



★ 児童たちがつくった「きゅうしょく川柳」を掲示しています！ ★

1階廊下の掲示板に、「給食週間」の取り組みで、各学年の児童が考えた「きゅうしょく川柳」を掲示しています。一部紹介します！

ありがとう いつもたのしく いただきます(1年)

にっこにこ みんな大すき カレーライス(2年)

食べてみて にがてなものも すきになる(3年)

手を合わせ 命に感しゃし いただきます(4年)

給食は 残さず食べよう 感しゃして(5年)

給食を 残さず食べた SDGS(6年)

おいしいな 赤黄緑が つまってる(6年)



★「給食週間」について★ *児童朝会で「給食週間」の話をしました。

1月24日～1月30日は、「全国学校給食週間」といいます。この期間の前後に、各学校で「給食週間」を決めることになっています。
九条北小学校の今年の「給食週間」は、今日1月23日(月)～27日(金)です。

「学校給食」の始まりと言われているのは、明治22年(1889年)、今から133年前、山形県の現在は鶴岡市というところの小学校で、お弁当を持ってこられない子どもがたくさんいたため、無料で食事を提供したことからといわれています。

その後、全国で学校給食が実施されるようになりましたが、戦争による食料不足で中止することが決まりました。

戦後、栄養失調の子どもたちを救うために、外国からの援助で給食が再開されました。昭和21年12月24日に新しい学校給食が始まったことから、この日を「学校給食感謝の日」としましたが、冬休みに入ってしまうことから、1か月後の1月24日からの1週間を「全国学校給食週間」とすることが決まりました。

現在では、食べることが困難だったころから大きく変わり、偏った栄養摂取をはじめ生活習慣病の増加など、子どもたちの健康状態が心配されることから、**バランスのよい食事のお手本として、学校給食は「生きた教材」の役割を担っています。**

九条北小学校でも、給食週間の取り組みとして、給食委員会がいろいろ企画してくれています。みなさんも、「給食川柳」を考えてくれました。「給食週間」という、せっかくの機会ですので、学校給食について、みんなで考える機会、そして給食に感謝する機会としましょう。そして、給食の時には、

**おいしい給食を食べることができ
ることを感謝し、心を込めて
「いただきます」をしましょう！**

